

# ブックハンティング参加学生の感想

※学年・コース・五十音順・敬称略

7/19/2021 八戸ブックセンターにて

清水志ノ伸 (機械・医工学コース2年)

昨年度に引き続き参加した今回のブックハンティングでは、「ニコラ・テスラ」に関する本と、「スター・ウォーズ最後のジェダイ」の公式アートブックを購入した。ニコラ・テスラに関する本は、機械系に繋がるものがあると考え、面白そうだと思っている。「スター・ウォーズ」の公式アートブックは、SF映画独特の世界観や機械のデザインなど、今後のモノづくりに刺激が出るかもと考えている。どちらも面白い本なので、良い出会いになったと思う。

林 千秋 (機械・医工学コース2年)

今回初めてのブックハンティングでしたがとてもいい経験になりました。

いつも漫画や小説などを読んでいたのでとても新鮮味があり楽しかったです。私自身あまり本を選ぶことはできなかったのですが、ブックハンティングの雰囲気を感じることが出来て良かったと思っています。

来年以降も参加したいと思いました。

祐川 和奏 (環境都市・建築デザインコース2年)

初めてのブックハンティングとブックセンターでしたが、あっという間に時間が過ぎました。興味のある本、普段見られないような本があり、楽しかったです。そして、自分の自主探究の題材に役立つ本に出会えました。来年も参加したいです。

夏林 純英 (電気情報工学コース2年)

○今回は高専の図書館に置くものとして考えたときに、私たちの年代は精神的に悩むことが多く、自分の存在意義を確認することが難しい人が多いと考え、そういう悩みを持った人達が読んで自分を肯定できるようになれる本を探して選びました。

○ブックセンターについて

最近はインターネット等を使えば何でも分かる時代です。しかし、同時にその多すぎる情報の中で、何が大切なのかを見極める力も必要な時代でもあり、そこで迷うと大きなダメージを受ける可能性もあります。そんな現代だからこそ、僕は読書が必要だと思います。なぜなら、本を読むことで何が正しいのかを深く理解することができ、知識を増やすことで、正しい情報を選ぶ力がつくと思うからです。また、感受性や人間性も豊かにもします。しかし、本屋では、インターネットと同じように情報が多く、その中で、正しく自分に必要な情報を見つけることは慣れないと難しいことです。ブックセンターという場所はそういう慣れた人にとっても慣れていない人にとっても、とても便利な場所だと思います。また、ブックハンティングは選ばれた本のなかでも自分が良いと思ったものを選び、それを共有することができるのでとても良い行事だと思いました。

藤田 純矢（マテリアル・バイオ工学コース 3年）

今回のブックハンティングでは哲学や心理学の本をチョイスしてみました。理由として私自身が政治や法律の話題に触れることが多くなり、人としての判断力を養う機会が足りていないと感じたからです。また私の趣味で透明な生物だけの写真図鑑も選んでみました。気軽に楽しめる本も図書館にもっと増えると良いなと思います。

下田 華仙（マテリアル・バイオ工学コース 4年）

今回は2度目のブックハンティングでした。本に囲まれた空間は心地が良く、また興味のある本も見つけられて、とてもいい体験でした。また来年も行けるなら、行きたいと思います。

樋口 花菜（マテリアル・バイオ工学コース 4年）

ブックハンティングは、今回が初めてでした。ブックセンターへ行って、学生が実際に必要な本を図書館へ取り入れることが出来るため、図書館を自分たちでより良くしていけることがとても良いなと思いました。授業や、勉強に活用できそうな本を書店員さんがとても分かりやすく教えてくださり、多くの本を選んだので、今後学生に活用して欲しいなと思います。

樋口志保（環境都市・建築デザインコース 4年）

去年同様、今年もブックハンティングに参加してみて、自分や友人の為になる本や人を惹き付けるような本を選べたと思います。

また今年は2回目ということもあり、去年に比べ、落ち着いてゆっくりと本を選べました。

ブックセンターは去年から変わらず、とても落ち着きがあり良い雰囲気、素敵な場所だなと感じました。

また機会があれば、足を運びたいと思います。



山口蓬春

「夏果図（オランダ皿の静物）」